

## 本年度の重点目標・年間計画

## 1 平成21年度学校評価の重点目標

	分野	重点目標	評価
1	教育活動	①基礎的・基本的な知識や技術を確実に身につけさせる。	
		②高度熟練技能者への挑戦を含め、各種資格・検定に積極的に挑戦させ。	
		③地域の高度熟練技能者を活用して、技能の伝承、地域のものづくり人材の育成を図る。	
2	学校運営	④校務の効率化を図り、生徒に関われる時間を確保する。	
		⑤積極的に情報発信し、地域との連携・協力を図りながら信頼される学校を目指す。	

## 2 年間計画

月	内 容
4月	第1回学校評価委員会 重点目標、学校評価計画、自己評価（評価項目・目標・取組・計画等）の設定
5月	公開授業週間（5/7～9）授業参観 保護者アンケート 第1回生徒理解調査アンケート 第1回生徒からの授業アンケート（5/25～29）
6月	三豊工だよりで保護者に学校評価の重点目標と授業週間アンケートの結果周知
7月	生徒実態調査アンケート（教務）
9月	自己評価（中間評価）の実施
10月	第2回生徒からの授業アンケート（10/19～23）
11月	第2回生徒理解調査アンケート
12月	学校評価アンケート（外部アンケート（保護者・生徒）） 自己評価（最終評価）の実施 第2回学校評価委員会（自己評価の結果を踏まえた改善方策のとりまとめ）
1月	第2回学校関係者評価委員会
2月	学校関係者評価の結果を踏まえた改善策の見直し 第3回学校評価委員会 報告書の作成
3月	報告（設置者へ）・公表（三豊工だより・HPなどで）

表1 全体

A: 当てはまる B: やや当てはまる C: あまり当てはまらない D: 当てはまらない

		全 体			
評価内容		A	B	C	D
1	授業の声の大きさや話し方は適切である	2323	843	47	11
		(72%)	(26%)	(1%)	(0%)
2	授業の進度(スピード)はちょうどよい	2041	1026	124	31
		(63%)	(32%)	(4%)	(1%)
3	板書は見やすく適切である	1851	940	125	14
		(63%)	(32%)	(4%)	(0%)
4	授業の説明は分かりやすい、難しい内容には工夫をした授業をしている	1858	1227	115	23
		(58%)	(38%)	(4%)	(1%)
5	生徒によく質問をするなど、生徒の理解を確認しながら進めている	1937	1143	122	20
		(60%)	(35%)	(4%)	(1%)
6	授業の始まりと終わりの時間を守っている	2265	877	65	16
		(70%)	(27%)	(2%)	(0%)
7	授業中(特に実験実習)の事故防止に対する安全指導に心がけている	1129	362	35	12
		(73%)	(24%)	(2%)	(1%)
1	授業の始まりには、教材や実習服・体操服等の準備が来ている	2320	827	60	13
		(72%)	(26%)	(2%)	(0%)
2	授業中は私語も居眠りもしていない	1690	1271	235	28
		(52%)	(39%)	(7%)	(1%)
3	ノートをきちんと取っている	2102	855	104	23
		(68%)	(28%)	(3%)	(1%)
4	提出物は期限を守ってきちんと提出している	1900	872	127	21
		(65%)	(30%)	(4%)	(1%)
5	予習・復習をきちんとしている	729	1194	596	402
		(25%)	(41%)	(20%)	(14%)
6	授業に積極的に取り組んでいる	1641	1318	221	42
		(51%)	(41%)	(7%)	(1%)
合計		23786	12755	1976	656
		(61%)	(33%)	(5%)	(2%)

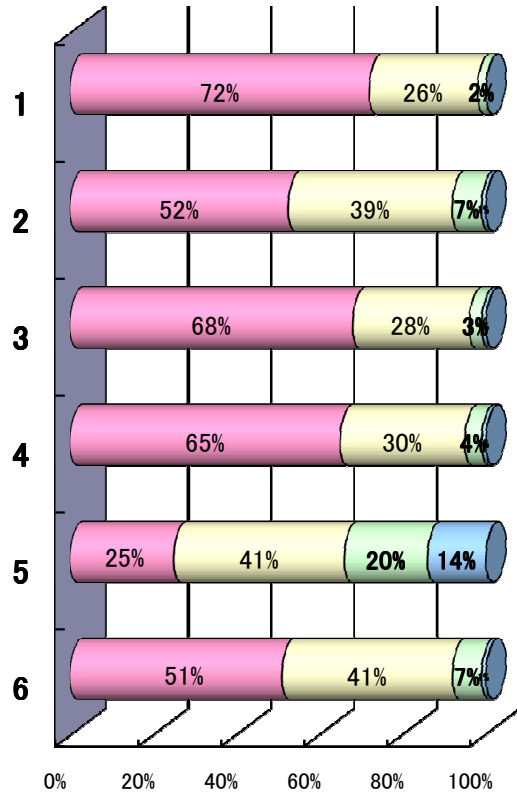
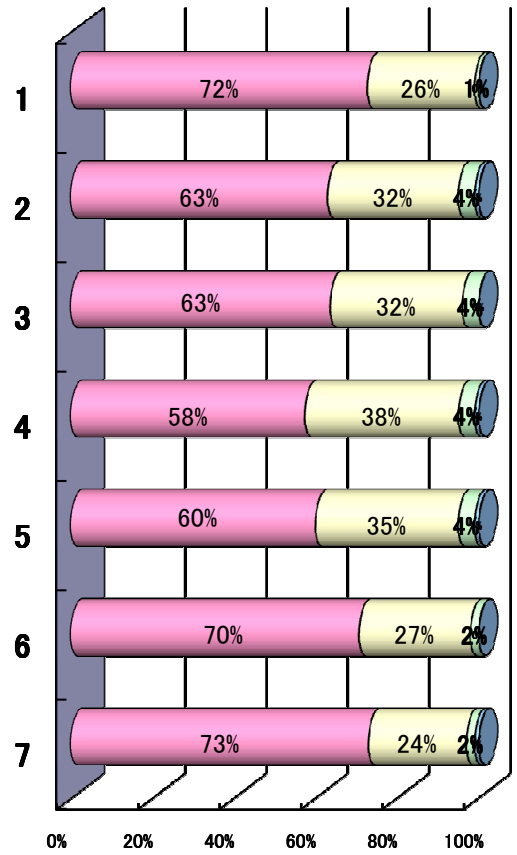
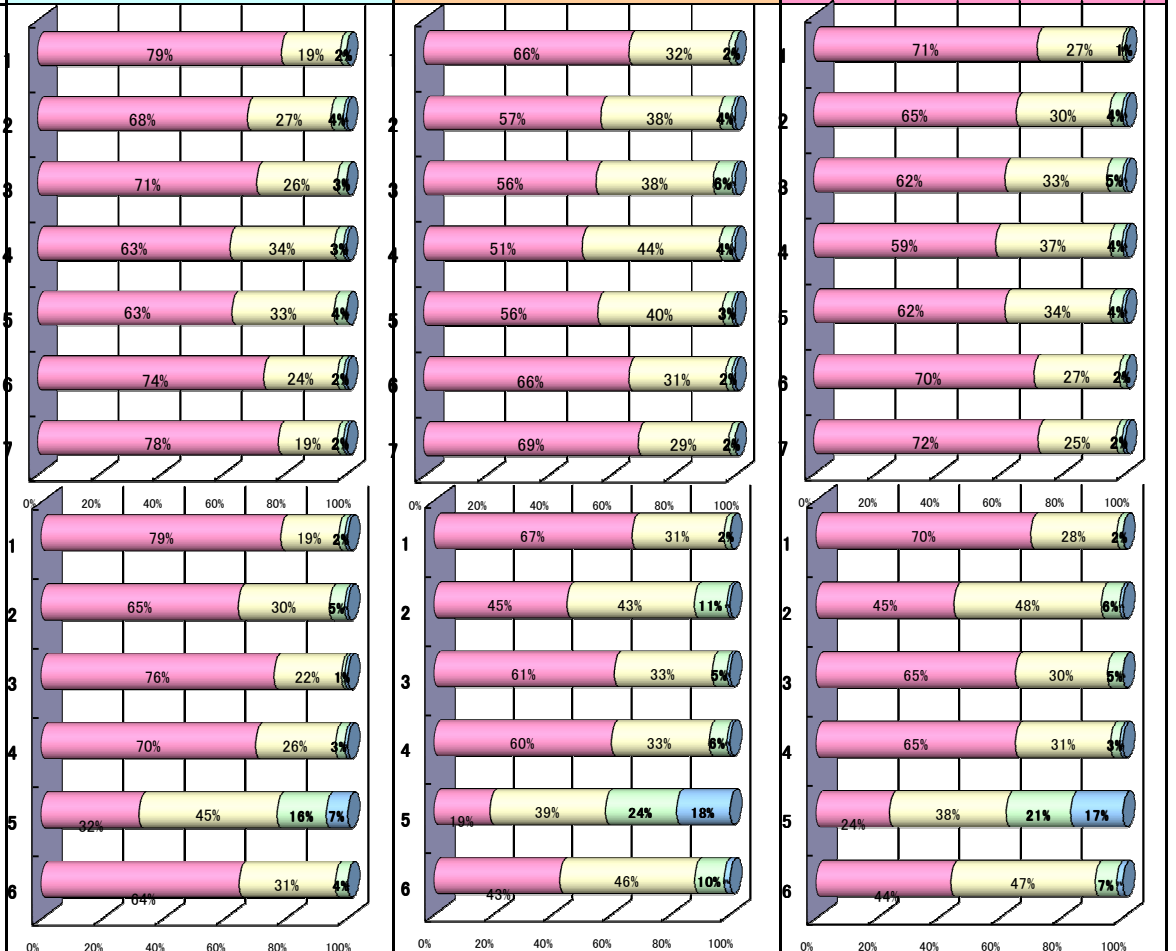


表2 学年別

A: 当てはまる B: やや当てはまる C: あまり当てはまらない D: 当てはまらない

評価内容	1年				2年				3年			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
1 授業の声の大きさや話し方は適切である	946 (79%)	234 (19%)	19 (2%)	5 (0%)	745 (66%)	366 (32%)	17 (2%)	5 (0%)	632 (71%)	243 (27%)	11 (1%)	1 (0%)
2 授業の進度(スピード)はちょうどよい	821 (68%)	329 (27%)	43 (4%)	9 (1%)	647 (57%)	429 (38%)	43 (4%)	14 (1%)	573 (65%)	268 (30%)	38 (4%)	8 (1%)
3 板書は見やすく適切である	783 (71%)	291 (26%)	28 (3%)	3 (0%)	578 (56%)	60 (38%)	6 (6%)	6 (1%)	490 (62%)	262 (33%)	37 (5%)	5 (1%)
4 授業の説明は分かりやすい、難しい内容には工夫をした授業をしている	757 (63%)	404 (34%)	35 (3%)	8 (1%)	578 (51%)	499 (44%)	46 (4%)	10 (1%)	523 (59%)	324 (37%)	34 (4%)	5 (1%)
5 生徒によく質問をするなど、生徒の理解を確認しながら進めている	758 (63%)	393 (33%)	48 (4%)	5 (0%)	632 (56%)	453 (40%)	38 (3%)	9 (1%)	547 (62%)	297 (34%)	36 (4%)	6 (1%)
6 授業の始まりと終わりの時間を守っている	895 (74%)	284 (24%)	19 (2%)	7 (1%)	748 (66%)	352 (31%)	27 (2%)	6 (1%)	622 (70%)	241 (27%)	19 (2%)	3 (0%)
7 授業中(特に実験実習)の事故防止に対する安全指導に心がけている	515 (78%)	123 (19%)	15 (2%)	8 (1%)	368 (69%)	153 (29%)	12 (2%)	2 (0%)	246 (72%)	86 (25%)	8 (2%)	2 (1%)
1 授業の始まりには、教材や実習服・体操服等の準備が出来る	945 (79%)	231 (19%)	19 (2%)	7 (1%)	755 (67%)	346 (31%)	27 (2%)	3 (0%)	620 (70%)	250 (28%)	14 (2%)	3 (0%)
2 授業中は私語も居眠りもしていない	782 (65%)	358 (30%)	56 (5%)	9 (1%)	513 (45%)	484 (43%)	124 (11%)	12 (1%)	395 (45%)	429 (48%)	55 (6%)	7 (1%)
3 ノートをきちんと取っている	912 (76%)	259 (22%)	15 (1%)	7 (1%)	647 (61%)	346 (33%)	51 (5%)	12 (1%)	543 (65%)	250 (30%)	38 (5%)	4 (0%)
4 提出物は期限を守ってきちんと提出している	773 (70%)	285 (26%)	38 (3%)	6 (1%)	614 (60%)	345 (33%)	64 (6%)	8 (1%)	513 (65%)	242 (31%)	25 (3%)	7 (1%)
5 予習・復習をきちんとしている	352 (32%)	493 (45%)	182 (16%)	78 (7%)	190 (19%)	404 (39%)	245 (24%)	187 (18%)	187 (24%)	297 (38%)	169 (21%)	137 (17%)
6 授業に積極的に取り組んでいる	767 (64%)	378 (31%)	54 (4%)	5 (0%)	484 (43%)	522 (46%)	109 (10%)	18 (2%)	390 (44%)	418 (47%)	58 (7%)	19 (2%)
合計	10006	4062	571	157	7499	4699	863	292	6281	3607	542	207



# 平成21年度 第1回生徒による授業アンケート まとめ

平成21年5月実施

香川県立三豊工業高等学校

## 1 集計結果について

表1全体より (1) 授業評価・自己評価ともに高い評価である。

授業評価の部分	A65%(+2%)	B31%(-2%)	計 96%(0%)
自己評価の部分	A56%(+1%)	B34%(-1%)	計 90%(0%)
合計	A61%(+1%)	B33%(0%)	計 94%(+1%)

(2) 授業評価の項目で評価がやや低い項目は

4 「授業の説明は分かりやすい。難しい内容には工夫をした授業をしている。」

A58%(+2%)B38%(-1%) 計 96%(+1%)

5 「生徒によく質問をするなど、生徒の理解を確認しながら進めている」

A60%(+2%)B35%(-2%) 計 95%(0%)

である。低いといってもAB計では95% にはあるが、Aの割合が60%近くで、生徒の正直な気持ちが出てきているともいえる。

※ ()の中には昨年同期(20年5月)からの増減を示したが、2%程度Aの方向に上向いている。

(3) 自己評価の項目については、

5 「予習・復習をきちんとしている」A25%(+4%)B41%(0%)計 66%(+4%)は、他がいずれもAB計で90%を越えている事を考えると特に低い。家庭学習ができていないことを、生徒自体も十分認識しているといえる。

次に評価の低い項目は

6 「授業に積極的に取り組んでいる」 A51%(+5%)B41%(-5%)計 92%(0%)

2 「授業中は私語も居眠りもしていない」 A52%(-2%)B39%(-2%)計 91%(-4%) であった。

## 表2 学年別より

(4) 学年による違いについて

授業評価の部分については、いずれもAB計では95%であるが、

Aの割合について 1年生が63%~79% 3年生62%~72% に対して  
2年生51%~69% と10%近く2年生が低い

自己評価の部分についても、全般的には似たような傾向で

5 「予習・復習をきちんとしている」などは

1年A32% 3年A24%に対して、2年A19% は 1年から-13% 3年から-5% 低い

2 「授業中は私語も居眠りもしていない」

1年A65% に対して 3年A45% 2年 A45% とともに低い

など「2年生のなかだるみ」、さらには「3年生に至ってもそのまま」といった傾向がある。

## 2 各教科・各学科のまとめよりの抜粋

### 1 「生徒による授業アンケート」についての総括・分析

授業評価においては、いずれの項目もA、Bの評価をしている生徒がほとんどである。授業に対する評価は、クラスによって大きい差がある。ほとんどの生徒がA、Bの評価をしているが、C、Dの評価も多々ある。生徒の評価は全般にわたって良好である。とてもよい。☆授業の集中力が高い1年生は概して高い評価であるが、授業の集中力が低い2・3年生は概して低い評価である。回答はA、Bがほとんどであるが、よりAの割合を多くするようにしたい、C、D評価がある項目について改善する必要もある。1年生についてはほとんどがAまたはBの評価であり、Aの評価の割合が多い。2年生についてはAとBの割合は僅差であるが、わずかに、Bが多い。これは、授業に工夫なく、一方通行。生徒の自分に対する評価は、「5. 予習・復習をきちんとしている」以外は、ほぼ全員がA、Bの評価をしている。明らかに甘い評価をしていると思われる生徒もいる。

授業評価では、板書が見にくい(15%)。授業の進度が、少し速い(11%)。生徒の理解を確認しながら、授業を進める(14%)。以上の3点について、改善する必要がある。

大半の生徒は授業のはやさ、説明も適切だと感じている。通信技術は電子回路で学んだ基礎知識を発展させる科目であるが、電子回路があまりにも難しく変調や復調など回路中心になってくるとついてこれない生徒が多い。生徒にたくさん質問を投げかけることが必要である。また、私語や居眠りは度々指導する必要がある。専門の授業では、基礎的なことが生徒は聞きなれない専門用語などで理解しづらいと感じているようである。

結構ゆっくりと進めているつもりであるが、1年生はまだまだ授業が速いと感じているものが多い。おおむね良好だが、「もう少しゆっくり」「難しい」との意見もある。特に、週の単位数が少ない授業については、進度を気にしすぎて生徒の状況にあった指導ができていなかったようだ。3年生の評価が進度が少し早いという意見が多かったのもう少し改善していきたい。

生徒の実態に応じた内容の教材を用意して授業に臨みたい。すべての生徒に興味関心を持たせるための教材研究と授業展開の工夫、及び授業内容のレベルアップをはかる。応用問題に取り組みたいという意見が少数派ではあるが聞くことができた。授業の始まりの時刻が守り切れていないという評価が比較的に高い。休み時間に移動することを心掛ける。

板書の工夫、実験を積極的に取り入れる、居眠り・私語の常習者の指導が課題。板書の見やすさ、進度については評価が低くなっているため工夫が必要である。板書やせつめいが分かりにくいとの事である。

「板書が見やすく適切である」というのが低い評価であった。声の大きさが適切でないという意見があるので修正したい。

授業の進度・声の大きさ・板書などについての注文が多い。おおむね良好な評価となっているが、電気基礎等の計算力が重要な科目では進度が速いと感じている生徒が増えている。授業の話し方、声量、進度は理解の早い生徒にとっては若干物足りないと感じているようである。

生徒は予習をしていないという状況である。生徒の自己評価では、居眠りをしている(30%)。予習・復習ができていない(47%)以上の2点について改善の必要がある。ただ、予習・復習といった家庭での学習があまりできていない。家庭での学習のための課題などが十分ではないためと思われる。生徒は、レポートや予習、復習、宿題がまだ十分できていないと感じているようである。

## 2 このアンケートの結果を受けて、授業改善に向けてどのように生かしていくか

さらに理解しやすい授業を心がける。興味の持てる実験をできるだけ多く取り入れ、学習意欲を喚起していきたい。身近にある物質を素材にした実験を考案していきたい。生徒の希望で実習を多く取り入れている。1、3学期は調理実習を、2学期は被服実習を実施している。また、すべての生徒が1回は、豊浜保育所で実習を体験する。ほとんど男子生徒であるが、4年間、事故もなく安全に行うことができた。クラスを半分に分けて実施している効果でもある。1999年に「男女共同参画社会基本法」が成立し、2005年には「食育基本法」が施行された。生徒たちが、家庭科の授業の意義を理解して、意欲的に取り組むように、工夫したい。各時間ごとにノートの記事を確認し、平常

点に反映したい。わかりやすい説明、工夫を意識しておこなう。授業では、基礎的な内容を中心にして、簡単な基礎問題の演習も取り入れて行うようにする。また、居眠りをしている生徒に対しては、簡単な質問をしたり、ノートをきちんと取るように適時指導をする。回路については一部はブラックボックス的な扱いとし、その応用や全体的なしくみなど、生徒が身近に感じられる授業を心がける。時には、コイルを巻いたり共振回路を製作して実験するなど授業に変化を取り入れる。生徒への発問の機会を増やし、しっかり考えさせることで、生徒の理解度を知ると共に、授業への主体性を引き出せるようにしていけるよう心掛けたい。わかりにくいと感じる部分については、多角的に繰り返し学習させる必要がある。生徒は自分で解決できない問題が一部にあることで全てができないと困っているのではないか。課題に簡単にできる復習と発展問題を分けて与え、今はここまでやればよいというラインを作ることで、自分ではできた、課題はやれて当たり前という意識や達成感を与えられるのではないか。また、発展問題を知ることによって生徒自身がもっと学びたいという気持ちも育てられるのではないか。課題を工夫してみたい。

生徒の理解の速度を考えた授業展開を考えたい。進度にとらわれ過ぎずに、授業時の初めには必ず復習の時間を入れるなど、細やかな丁寧な説明をしていかなければならない。復習を少しでもできるような課題を考えていきたい。また、授業内容の理解の定着をはかるために、生徒の反応を確認しながら、ゆっくりと説明をしていきたい。進捗を気にするよりも、理解を確認しながら進めていきたい。生徒の反応を確認しながら授業をすすめたい。学年末の全国標準テストの合格率を上げるために、焦らずに、ゆっくりと進めたい。

☆2・3年生は少人数ではあるが能力差が大きく、評価が分かれていると思われる。能力の低い生徒の集中力を高めることが一番必要である。コミュニケーションを図りながら工夫していきたい。前回の課題であった板書については少し改善が見られると受け止めてくれている。今回は生徒の指名の仕方が課題となっているのでクラスの実態に合わせてよく考え、工夫していきたい。丁寧な板書、丁寧な説明に心がける。

板書は、なるべく、大きな字で、丁寧に書くようにする。式変形等、生徒の苦手となる部分をできるだけ細かく板書して復習しやすいようにしていきたい。●字が小さかったり、薄かったりするのでしっかり書くようにする。●●語尾まではっきりと話すようにする。

家庭での学習のための課題の出し方を検討する必要がある。予習復習を行っていない生徒が多いので、定期的に課題を作成し、家庭学習を行わせたいと考える。予習・復習ができていないので、宿題などを出し、わかる授業にしていく。ただ、予習・復習ができていない生徒の割合が高い。適量の課題を出すことと、授業外でも継続して理科の学習が行えるような課題研究的な宿題を出すことも検討していきたい。予習・復習ができていないので、簡単な、授業内容のチェック問題を与えるようにする。

### 3 このアンケートの内容や実施時期などに対する意見や要望

アンケートの信頼性はかなり高まってきているように思われる。したがって、悉皆でなく、抽出でもよいのではないかと。生徒の感想欄の記述がほとんどなかった。生徒に対して、要望・意見を書かすように指導する必要がある。まじめに回答しない生徒もいるが、大まかな傾向は見えているように思う。特になし。これでよし。真面目に答えない生徒がいる。全員がまじめにアンケートに記入しているとはいえない。真摯に受け止めて書いてくれる生徒の数も少しずつ増えて来ている。記述のところもぼちぼち書いているので、授業を見直す上でとても役に立っている。